

同窓会報

発行所
倉敷市有城787
岡山学院大学・
岡山短期大学同窓会
TEL: 086-428-2651
発行日 令和7年5月

巻頭言

今が大切① - 岡山学院大学・岡山短期大学 に対する新学長の決意 -

岡山学院大学学長
岡山短期大学学長
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長

原田俊孝

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

令和7年度より新たに学長になりました原田俊孝と申します。学長として岡山学院大学・岡山短期大学の同窓会報の巻頭言を書かせていただくことに誠に名誉を感じているところでございます。

私と本学との出会いは、岡山女子短期大学時代の学園祭でした。「副学長の子ども？かわいいね」「焼きそばを買わない？」「綿菓子を買わない？」等と当時の学生から可愛がっていただき、当時の原田俊子学長や原田博史副学長から何を食べてきたのかよくわかるといわれていました。

私は、憧れの場所である本学の発展に貢献がしたいと平成23年に本学園に情報処理担当教員で就職しました。しかし、先代の原田博史前学長の令和6年度の同窓会報の巻頭言「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」で述べさせていただいたとおり、本学はかなり厳しい状態でございます。「このままでは、私を育てていただいた場所、憧れの場所がなくなってしまう…、私を育てていただいた同窓生の皆

さんに申し訳がない。理事長・学長になり私が本学を立て直し発展させなければならない」という気持ちがより強く感じました。本学を立て直し発展させていくために、私は理事長・学長という“最”重責を担うことになりました。岡山学院大学・岡山短期大学を牽引し、より盛り上げてまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

私の座右の銘である【今が大切】をシリーズ化し、その第1弾「岡山学院大学・岡山短期大学に対する新学長の決意」を今年度から巻頭言で書かせていただきます。はじめに、令和6年度の2点の“今”の取組について報告させていただきます。

1. 高梁川流域圏の活性化への貢献

本学園を立て直すにあたって一番重要なことは地方創生に貢献することです。地域に応援してもらう仕組みを作ることです。しかし、地域が求められているのか、本学園は正直考えていませんでした。「新聞等で本学の名前がない」という同窓生からの声は、地域への貢献が来ていないへの声だと同類であると考えています。同窓生の皆さんに活躍している姿を長く見せられなかったことについて深くお詫び申し上げます。

今後は、高梁川流域の活性化を全学的に取り組みま

第70回同窓会総会懇親会

令和7年7月6日(日)

倉敷ロイヤルアートホテル 午前11時～

※詳細は次のページをご覧ください。



す。昨年12月に倉敷市との包括協定、今年の3月に浅口市との包括協定を締結しました。また、これからは高梁川流域圏の地方自治体との包括協定を締結する方向でございます。包括協定は高等教育の質的向上のみならず多角的な視点で地域課題を解決する内容となっています。地方自治体のみならず、あらゆる産業との協定を締結する方向で動いています。本学の名前が新聞等で早く載せられるように頑張っていく所存です。

2. 鴨方校地の再開発について

上記の高梁川流域の活性化の一環として、本学は鴨方校地を再開発する計画をしております。具体的には、浅口市と共に地方創生2.0の目標が達成できる新たな拠点「浅口みらい館（仮称）」を創設しフードビジネスアントレプレナー事業、子育て支援事業、地方創生事業を実施してまいります。ぜひ今後注目していただければと思います。

同窓会総会・懇親会と同期会のお知らせ

第70回同窓会総会は、来る令和7年7月6日（日）の午前11時から倉敷ロイヤルアートホテルにおいて開催されます。今年は「7」がつく年の卒業生の方々が当番年です。総会・懇親会は毎年有意義に楽しく進めております。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいますようお願いいたします。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 日 時

令和7年7月6日（日）

総会 11:00～12:00 懇親会 12:00～14:00

2. 場 所

倉敷ロイヤルアートホテル 地下1階フィレンツェ
倉敷市阿知 3-21-19（JR倉敷駅から徒歩10分）
TEL：086-423-2400



※会場に専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

最後に、岡山学院大学・岡山短期大学に対する新学長の決意として、教育三綱領「自律創生・信念貫徹・共存共栄」の基、学校課題並びに地域課題、あらゆる課題に全身全霊で立ち向かって解決してまいります。そこで、同窓生の皆さんにひとつだけお願いがございます。同窓生の皆さんにこれまでも本学を注目して頂いているところではございますが、これからも本学をより一層注目していただきたく存じます。本学を注目していただき「おかがく・おかたん、今頑張っているな」「おかがく・おかたん、今面白いな、ワクワクするな」と感じましたら、本学をその“今”を少しだけ推してください。同窓生の皆さんが本学を“今”を推したいと感じる取組こそ、本学のV字回復の起点になると確信しています。拙文で誠に恐れ入りますが今後ともよろしく願いいたします。

3. 総会次第

- (1) 令和6年度事業報告並びに決算報告
- (2) 監査報告
- (3) 令和7年度事業計画（案）並びに予算（案）
- (4) その他

4. 懇親会

総会終了後、引き続きその場で行います。美味しい食事を頂きながら、楽しくお過ごしください。

5. 参加費および申込方法

参加費 7,500円（新入会員 令和7年3月卒業者のみ3,000円）

申込方法 参加希望の方は、同封の郵便振替の払込取扱票により、会費をお振込みください。アレルギー等でお召し上がりになれない食材がございましたら払込取扱伝票の通信欄へご記入ください。可能な限り配慮させていただきます。

申込期限 令和7年6月6日（金）

申込キャンセル 6月20日（金）17時00分までに、下記のお問い合わせ先まで必ずご連絡をお願いいたします。期日までにご連絡が無い場合は欠席の場合でも参加費のご返金は出来ません。

6. お問い合わせ先

岡山学院大学・岡山短期大学同窓会事務局

〒710-8511 倉敷市有城787 TEL：086-428-2651

同窓会総会・懇親会に参加される方は同期会を開催していただくことが可能です。詳しくはお問い合わせ先までご連絡ください。



令和6年度 同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		原 田 博 史
会 長	昭 和 4 2 年	保	中 塚 志 津 子
副 会 長	昭 和 4 1 年	保	森 上 敏 子
	昭 和 5 8 年	幼	平 松 弘 子
常務理事	平 成 2 9 年	食	奥 野 楓
	平 成 3 0 年	食	長 谷 川 奈 美
理 事	昭 和 5 8 年	幼	吉 井 理 恵
	昭 和 6 2 年	幼	高 岸 益 子
	平 成 1 8 年	食	山 口 泰 明
	平 成 2 0 年	食	平 野 聡
	平 成 2 4 年	食	黒 明 明 子
	平 成 2 5 年	食	北 條 由 貴
監 事	令 和 2 年	幼	橋 本 慎 一 朗
	昭 和 5 2 年	幼	西 早 苗
	平 成 1 5 年	幼	木 村 太 郎
	平 成 2 4 年	食	岡 部 麻 耶

令和6年度 本部便り

第1回理事会(令和6年5月10日)

1. 令和5年度事業報告および収支決算について、協議の上、一部修正を加え決定された。
2. 令和5年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
3. 令和6年度事業計画(案)および予算(案)について、協議の上決定された。

第2回理事会(令和6年6月14日)

1. 第69回同窓会総会・懇親会の役割分担を行った。
2. 第69回同窓会総会・懇親会配布資料について、協議の上、一部修正を加え決定された。

第3回理事会(令和6年12月11日)

1. 第69回同窓会総会・懇親会の報告および決算につ

いて報告があり、その後反省が行われた。

2. 第70回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について協議され、令和7年7月6日(日)に倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが決定した。

緊急理事会(令和7年2月10日)

1. 学生の為のトイレ改修工事の寄附について、協議の上、詳細が決まり次第同窓会より寄附を行うことが決定した。
2. 同窓会々則第6条の1に基づき、令和7年度より本同窓会の名誉会長に原田俊孝氏が就任することとなった。

第69回同窓会総会記録

令和6年7月7日(日)倉敷ロイヤルアートホテル(フィレンツェ)において、卒業年の末尾に「6」のつく方々の運営で同窓会総会・懇親会が開催された。今年は、原田博史学長をはじめ、他6名の先生方のご出席をいただいた。

【第69回 同窓会総会】

1. 開 会 司会：平松弘子副会長、吉井理恵理事
2. 会 長 挨拶 中塚志津子会長
3. 名誉会長挨拶 原田博史学長
4. 来 賓 紹 介 平松弘子副会長、吉井理恵理事より来賓紹介
5. 物故者追悼(黙祷)
6. 役 員 紹 介 役員自己紹介
7. 議 長 選 出 多田歩生氏(令和6年食)
8. 議 事

(1)令和5年度事業報告並びに決算報告

長谷川奈美常務理事、奥野楓常務理事

・理事会…年3回

(令和5年5月、6月、12月)の開催

・準備会…令和6年2月(第69回同窓会総会準備会)

・第68回同窓会総会・懇親会の開催

(令和5年7月2日(日))

- ・同窓会報第43号発刊
- ・ICTリテラシー教育のための拠金（継続）
- ・ホームカミングデーに協力

(2)監査報告 西早苗監事
「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)令和6年度事業計画（案）並びに予算（案）
長谷川奈美常務理事、奥野楓常務理事

- ・理事会…年3回
(令和6年5月、6月開催、12月開催予定)
- ・準備会…令和7年2月予定
(第70回同窓会総会準備会)
- ・第69回同窓会総会・懇親会の開催
(令和6年7月7日(日))
- ・関西同窓会の開催(令和6年9月8日(日))
- ・同窓会報第44号発刊
- ・ICTリテラシー教育のための拠金（継続）
- ・ホームカミングデーに協力

9. 閉 会 森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

総会后、羽仁菜々子さん（R6 幼教卒）、原章子さん（R6 幼教卒）の司会進行で懇親会が始まりました。開会挨拶後、原田俊孝副学長先生に乾杯をしていただき、懐かしい同級生や来賓の先生方と会話をしながら、美味しいお食事を楽しみました。余興は令和6年食物栄養学科卒業有志の皆さん、令和6年幼児教育学科卒業有志の皆さん、昭和40年保育科卒業の山本一女さん、平成14年幼児教育学科卒業の沖川敬幸さんに近況報告をしていただき、会場は大いに盛り上がりました。最後には毎年恒例になっている〈大学校歌〉〈短大学歌〉を合唱し、川野南菜美さん（R6 食物卒）の閉会挨拶により、第69回同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。

原田博史学長先生、原田俊孝副学長先生、久保豊子先生、山田治来先生、堀口のごみ先生、尾崎聡先生、都田修兵先生、ご出席ありがとうございました。次回もまたご出席いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければ幸いです。



R6 食物栄養学科卒



R6 幼児教育学科卒



S40 保育科卒



懇親会の様子



第69回懇親会 会席

第6回関西同窓会記録

令和6年9月8日(日)午後12時、原田博史学長、中塚志津子会長、原田俊孝副学長にご出席をいただき、ホテルグランヴィア大阪において関西支部の関西同窓会が開催された。

【第6回 関西同窓会】 司会：高岸益子（S62幼）

1. 開会の言葉
2. 関西同窓会会長挨拶 角田操関西同窓会会長
3. 同窓会名誉会長挨拶 原田博史学長
4. 同窓会会長挨拶 中塚志津子会長
5. 来賓挨拶 原田俊孝副学長
6. 同窓会員近況報告
7. 閉会の言葉



第6回関西同窓会

平成14年幼児教育学科卒 同期会

卒業から20年と少しが経った2024年9月、2002年3月に幼児教育学科を卒業した仲間たちが母校に集まりました。仲間内では交流が続いていたものの、学年全体での同窓会は今回が初めてとなり、1次会と2次会を合わせて約30人が参加、久しぶりの再会に笑顔があふれました。

会場は学校会議室でした。これまで同窓会で使われたことはなく、学長のご厚意で特別にお借りできることとなり、懐かしい母校で集えることに喜びを感じながら、周囲を気にせず思い切り楽しむことができました。

会は校歌斉唱からスタート。歌声が響くと、自然と学生時代の思い出が蘇りました。続く学長のご挨拶では、私たちが初めての共学世代だったことに触れられました。男子生徒の受け入れは手探り状態で、更衣室の壁に穴が開いたというお恥ずかしいエピソードに、力を持って余す男子たちに体育館へサンドバッグを設置した、という当時の苦労話には懐かしさと笑いが交錯しました。

当時の先生方からは今でも印象に残っている「パワフルな学年」と言われている私たち。そのエネルギーは今も健在で、むしろパワーアップをしており、会の進行が追いつかないほど盛り上がり、最後はジャンケン列車まで行い、大人になっても本気で遊ぶ姿は、まるで学生時代にタイムスリップしたようでした。

現在も幼児教育に携わるメンバーが多く、仕事の話でも盛り上がりました。久々の再会に時間が足りなく感じられるほどで、「次はもっと多くの仲間と会いたいね」と声を掛け合いながらのお開きとなりました。長い年月が経つ中で、連絡がつかない人も増えていましたが、次回はさらに多くの仲間と再会できることを願っています。

今回、学長をはじめ母校の皆様のおかげで思い出深いひとときを過ごすことができました。心より感謝申し上げます。またこの場所で再び笑顔で集まれる日を楽しみにしています。

H14年 幼児教育学科卒 瀬戸口 千紘



岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 令和6年度卒業研究

内容は以下の通りである。

「パンの歴史」

田辺真唯

(研究指導：次田隆志教授)

「パン類・麺類・和洋菓子類の食感に関するオノマトペについての市場調査」

植舞羽

「パン類・麺類・和洋菓子類のオノマトペに関するアンケート調査」

米田北斗

(研究指導：次田隆志教授、津村哲司准教授)

「ちらし寿司におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理」

洲脇怜祥

(研究指導：狩山玲子教授)

「高齢者の低栄養改善について」

堀川優理

(研究指導：佐藤幸枝教授)

「腸活と子どもとの関係について」

近江綾里

(研究指導：内田雅子講師)

「島嶼部・山間部における栄養問題の実態について」

伊藤大貴

「島嶼部及び中山間地域の住民における食生活について」

日下陽香

「過疎地域における栄養面の現状と対策」

佐藤杏美

(研究指導：平野聡講師)

「ビタミンCと肌荒れの関係について」

植愛帆

「栄養機能食品とカルシウムとの関係性」

奥村美唯

「飲料に含まれるビタミンCと鉄の関連」

香川葵

「痩せ願望における食生活や心理的ストレスの影響について」

高橋礼奈

「更年期と糖尿病の関連について」

山田楓姫

「歯と栄養の関係『管理栄養士・栄養教諭がこれから指導すべきこと』」

横山隆成

(研究指導：岡田只士講師)

岡山短期大学幼児教育学科

令和6年度「子どもとっしょに運動会」

令和6年5月24日(金)、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもとっしょに運動会」が開催された。コロナ禍以後は団体を招待せず、近隣の未就園児と保護者等を中心に参加を募っている。当日は子ども20人、大人16人の参加があった。卒業生とその子ども、学生の家族や親類の親子などもチラシ等を見て来場して下さり、和やかな交流の場となった。また、フリースタールを経営している卒業生が子どもたちを連れて来場して下さったり、卒業生が引率者として来場して下さったり、同窓生の活躍ぶりを知る機会となっている。

子どもたちは学生の工夫した各年齢別の種目に参加し、学生が演じる保育者の配慮や援助を受けながら競技を楽しんだ。以前に「1年生は主に子ども役を演じている」との報告をしたことがあったが、近年は2年生、1年生ともに保育者役に専念し、十分な学びとなっている。プログラムは以下のとおりである。

1. 開会式
2. 電車で旅行(2歳児)
3. おむすびころりん(3歳児)
4. ご飯作りリレー(4歳児)
5. 赤ずきんちゃん(5歳児)
6. ~休憩~
7. かけっこおすし(2・3歳児)
8. みんなで協力!!パラバルーン(4・5歳児)
9. デカパンリレー
10. 閉会式



子どもとっしょに運動会

岡山短期大学幼児教育学科

令和6年度「子どもとっしょに発表会」

令和6年12月6日(金)、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもとっしょに発表会」が開催された。

近年は市内の園・施設からの来場予約や問い合わせが多く、園外に出かける活動を求めておられることがよくわかる。昨年はインフルエンザ等の波と重なり来場予約のキャンセルが相次いだ。発表会に出かけることをとても楽しみにしていた園児たちもがっかりしたと伺っている。また、子どもたちの来場を楽しみにしていた学生たちも残念な気持ちであった。

今年度は時期にも恵まれ近隣の園からは子ども109人、引率16人も多数の来場者があり、久しぶりの賑やかな発表会となった。チラシなどを見て当日来場された「一般来場者数」も子ども20人、大人16人と「未就園の園児と保護者への支援」になっている。



子どもといっしょに発表会

プログラムは以下のとおりである。

- ・開場から開会までは「遊びの広場」
- ・絵本・紙芝居・エプロンシアターのコーナー（言葉ゼミ）
「とんとんとん」「ブレーメンの音楽隊」「だるまさんがころんだ」「おおきなかぶ」「いいからいいから」「はらぺこかいじゅう」「おまんじゅうのすきななどのさま」「これは」「3びきのこぶた」「へんしんとんねる」
- ・手作り遊具（図画工作ゼミ）
「つなげてあそぼう」「ペットボトルボーリング」「もぐらたたき」「アンパンマンストラックアウト」
- ・開会宣言（2年・1年男子、秋山講師、山上講師）
- ・主任教授挨拶（尾崎教授）
- ・舞台 幼児ダンス「おジャ魔女カーニバル／MAHO堂」（表現ゼミ1年）
- ・幕間 手あそび（表現ゼミ2年）
- ・舞台 オペレッタ「ヘンゼルとグレーテル」（2年）

- ・幕間 手あそび（公務員ゼミ1年）
- ・舞台 幼児ダンス「わたしの一番かわいいところ／FRUITS ZIPPER」（表現ゼミ2年）
- ・幕間 手あそび（表現ゼミ1年）
- ・舞台 はたらく細胞（公務員ゼミ2年）
- ・幕間 手あそび（表現ゼミ2年）
- ・幕間 インタビュー
- ・舞台 オペレッタ「うらしまたろう」（2年）
- ・閉会のあいさつ（2年）
- ・アーチでお見送り（2年・1年全員）

岡山短期大学幼児教育学科 令和6年度卒業研究発表会

令和6年度岡山短期大学幼児教育学科「卒業研究発表会」は1月10日～1月17日の間で、それぞれのゼミにおいて、1年生後期の「卒業予備研究」以来の1年半にわたるゼミ活動を指導教員とゼミ生全員で振り返りながら行われた。発表題目・発表者・指導教員は以下のとおりである。

〔発表題目および発表内容〕

発表題目：幼児の言葉を育てる保育者を目指して
発表者：小川 唯花、小幡 茉央、篠原 聖穂、永友 愛麗
（指導教員：浦上博文（言葉ゼミ））

発表題目：Society5.0時代の造形表現活動への試み
発表者：内田 百香、谷 沙耶音、中屋 和歩、森下 寧々、吉村 鈴花
（指導教員：佐藤尚宏（図画工作ゼミ））

発表題目：身体表現活動に関する研究－幼児ダンスに着目してⅢ－
発表者：赤木 星、浅野 七海、高原 夢菜、宮澤 茜、森 ゆな、八瀬 美咲
（指導教員：吉田升（表現ゼミ））

発表題目：子どもたちの心の健康に関する研究
発表者：原 朋花、森下 莉名、山口 寿珠
（指導教員：大賀恵子（児童心理学ゼミ））

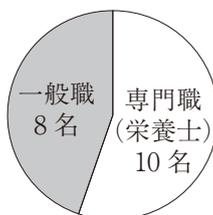
発表題目：令和6年度公務員ゼミの取組
発表者：佐藤 桃香、竹内 智矢、田中 稚奈、谷田 朱璃、濱野 日向子、飛田 あゆみ、藤井 郁子、藤原 綾輝、松井 藍花、湊 来夢、峰沢 華英、安田 千慧、吉井 恵美
（指導教員：尾崎聡・都田修兵（公務員ゼミ））

令和6年3月卒業生就職状況

岡山学院大学

人間生活学部 食物栄養学科

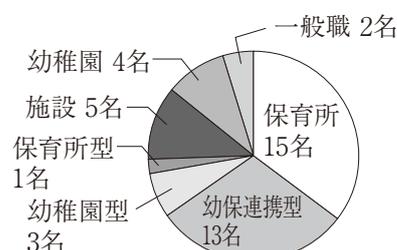
卒業生数	19名
就職希望者数	18名
専門職（栄養士）	10名
一般職	8名



岡山短期大学

幼児教育学科

卒業生数	44名	保育所型認定こども園	1名
就職希望者数	44名	施設	5名
保育所	15名	幼稚園	4名
幼保連携型認定こども園	13名	一般職	2名
幼稚園型認定こども園	3名		



岡山学院大学・岡山短期大学 令和5年度後援会事業報告

1. 概要

- 岡山学院大学岡山短期大学後援会
令和5年度理事
(岡山学院大学 8名 岡山短期大学 4名)
- 設置する学校・学部・学科
岡山学院大学 人間生活学部 食物栄養学科
岡山短期大学 幼児教育学科
- 当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況
(令和5年5月1日現在)

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	年度 H14	人 40	人 160	人 81	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	81	
岡山短期大学	幼児教育 学科	年度 S33	人 70	人 170	人 83	H22 定員変更 150→100 R5 定員変更 100→70
	計		70	170	83	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専任教員	0	16	11	27
専任事務職員	1	6	7	14

兼任及び非常勤教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼任教員	6	3
非常勤教員	9	10

2. 事業の概要

- 当該年度の事業の概要・目的

事業	概要・目的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成 1,365,844円
無料通学バス 運行費用の助成	倉敷駅前(7番乗場) ～本学A棟前間の無料直行バス運行 (登校時2便・下校時3便) 令和5年度前期 運行日数 92日、 延べ 7,706人乗車 無料通学バス運行費用の助成 4,512,200円(前期分のみ)

岡山学院大学・岡山短期大学 ICTリテラシー教育のための拠金者一覧

(令和6年1月～令和6年12月の拠金者)

卒年	学科	氏名
昭30	家政	二宮 キヨミ
昭31	家政	坂本 登志子
昭31	家政	寺見 登和子
昭32	家政	岡田 登代子
昭33	家政	内田 洋子
昭33	家政	大山 美津子
昭36	保育	山崎 久子
昭36	保育	佐藤 温子
昭36	家政	旗手 鈴子
昭38	家政	駒澤 弘子
昭38	保育	大塚 裕子
昭39	保育	岩田 典子
昭39	保育	出口 ヤウ
昭40	保育	弓場 則子
昭40	保育	山本 一女
昭40	保育	大森 弘子
昭40	家政	小林 慶子
昭41	保育	森上 敏子
昭41	栄養	西河内 満江
昭42	保育	石井 智代子
昭42	保育	梅木 絹枝
昭42	家政	大島 明美
昭44	保育	佐藤 啓子
昭44	保育	信藤 直美
昭45	保育	藤田 恵美
昭46	家政	吉田 早苗
昭47	幼児教育	山下 範子

卒年	学科	氏名
昭49	食物栄養	原田 さかえ
昭49	幼児教育	三戸 順恵
昭50	食物栄養	槇野 圭子
昭51	幼児教育	藤井 幸子
昭51	幼児教育	大西 英子
昭52	食物栄養	小谷 典子
昭52	幼児教育	中土井 悦子
昭58	幼児教育	難波 佳代
昭62	幼児教育	高岸 益子
平2	食物栄養	木嶋 秋子
平4	食物栄養	坪井 美喜子
平5	食物栄養	有藤 友希
平24	食物栄養	井上 紗央里
令6	食物栄養	細川 賢汰
令6	幼児教育	原 章子
令6	幼児教育	根師 菜月

拠金内訳	
3,000円×2名	6,000円
4,076円×1名	4,076円
5,000円×26名	130,000円
5,076円×1名	5,076円
10,000円×11名	110,000円
20,000円×1名	20,000円
50,000円×1名	50,000円
合計	325,152円

岡山学院大学・岡山短期大学
ICT リテラシー教育のための拠金の御礼および拠金継続について

母校のICTリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

しかし、下記のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かいご支援をいただき目標額を達成するべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成19年度に第1回目の贈呈(図書館ノートPC12台〈3,000,000円〉)、令和元年度に第2回目の贈呈(図書館ノートPC5台〈669,600円〉)、令和2年度に第3回目の贈呈(栄養計算ソフト導入5台〈176,000円〉)を行っています。

拠 金 総 額

年 度	拠 金 額	振込手数料	累 計
平成 14 ～ 30 年度	6,509,624 円	39,280 円	6,470,344 円
令 和 元 年 度	196,000 円	0 円	6,666,344 円
令 和 2 年 度	229,000 円	0 円	6,895,344 円
令 和 3 年 度	55,000 円	0 円	6,950,344 円
令 和 4 年 度	180,000 円	0 円	7,130,344 円
令 和 5 年 度	361,000 円	0 円	7,491,344 円
令和 6 年度 12 月末 現在	325,152 円	0 円	7,816,496 円
合 計			7,816,496 円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。拠金発起人一同

令和5年度 収支決算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金額 (円)	科 目	金額 (円)
繰 越 金	9,755,292	会 議 費	421,500
当年度新入会員会費受入収入	1,600,000	交 通 費	56,840
翌年度新入会員会費	1,260,000	印 刷 費	1,211,909
翌々年度新入会員会費	40,000	通 信 費	1,137,771
総 会 費	258,000	慶 弔 費	10,000
50年の歩み冊子収入	800	消 耗 品 費	10,868
拠 金 収 入	361,000	手 数 料 支 出	11,654
雑 収 入	1,029	翌年度新入会員会費支払支出	1,260,000
合 計	13,276,121	翌々年度新入会員会費支払支出	40,000
		予 備 費	
中国銀行スーパー定期	6,000,000	次 年 度 繰 越 金	9,115,579
笠岡信用組合定期	5,000,000	合 計	13,276,121